

問題

令和6年度 近畿大学 大学院商学研究科 博士前期課程

入学試験問題（英語 B）

問題 1 次の英文を日本語に訳しなさい。

* 著作権の関係により掲載できません。

引用元: Excerpts from Kiuchi, T. (2022, Feb 10). *Takahide Kiuchi's View – Insight into World Economic Trends: “New Capitalism” and “Stakeholder Capitalism”*. NRI Journal. https://www.nri.com/en/journal/2022/0210_2)

Excerpted sections: the first & third paragraphs of the first section and the first & second paragraphs in the third section

解答例

「ステークホルダー資本主義」は「株主資本主義（株主至上主義）」の対義語である。株主資本主義では、株主の利益を短期的に最大化することが最重要視され、結果として従業員や地域社会に負担を強いるという問題を生んできた。しかし、企業は株主だけでなく、従業員、ビジネスパートナー、顧客、地域社会など幅広いステークホルダーにとって何が利益になるかを考慮しなければならないという別の思想も浸透してきている。これが「ステークホルダー資本主義」と呼ばれるものだ。

海外では、ステークホルダーベースのコーポレートガバナンスを通じて企業を段階的に変革していこうとする傾向にある。対照的に日本では、政府が率先して企業界の急速な変革を促している。

短期利益を優先した企業経営の姿勢を正そうとするステークホルダー資本主義が世界的に注目され始めている中、日本企業や日本政府は、これが日本の企業界の伝統的な考え方であるという自負を深め、そして彼らは間違いなくこの変化を歓迎していることであろう。

かつて近江（現在の滋賀県）を拠点として日本全国で活躍した近江商人の例を考えてみよう。これらの商人は、「三方よし」、文字通り売り手、買い手、そしてより広い社会への利益を提唱し、その精神をモットーとした。古くより日本の経営者が自分の目先の利益だけの追求ではなく、幅広いステークホルダーの利益の実現、結果社会への貢献を常に意識してきたことに、多くの日本人は誇りを持っている。また 100 年以上も前に、「富の根源は仁義道徳にあり」と主張し、より倫理、道徳的な経営を追求した著名な実業家渋沢栄一もいた。

出題意図

英文テキストのテーマ、その内容を理解し、英文テキストを日本語で表現する力。